

第7回 スポニチ杯
第55回 日本少年野球連盟選手権大会 静岡県支部予選



スポニチ
Sponichi Annex



公益財団法人
日本少年野球連盟

期間 令和6年6月15日(土)16日(日)22日(土)23日(日)

会場 愛鷹球場/浜松球場/磐田球場/裾野球場

主催 (公財)日本少年野球連盟 静岡県支部
(公財)日本少年野球連盟

協賛 株式会社スポーツニッポン新聞社

⚠ ボーイズリーグは一切の暴力、暴言を禁止しています。



Japan Boys Baseball

野球をしながら
団結・友愛・規律・勇気・忍耐
身につけよう

(公財)日本少年野球連盟定義 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の鍛錬とスポーツマンシップを理解させることに努め、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田 敏和

本部 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号

南海日本橋ビル2F

TEL 06-6649-0061

投手投球数制限の運用細則

令和3年5月8日
(公財) 日本少年野球連盟

1. 投球数の定義

試合中に投手が捕手に向かって投げた球とする。

以下の場合、球数としてカウントしない。

①牽制球

②ボーク

※ただし走者なしの場合のボークで投球動作中にボールが手から飛び出し、ファウルラインを超えて「ボール」と宣告された投球数はカウントする。

③当該打者へ申告敬遠を行ってから投球数

※雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。

2. 投球数の管理

①球場責任者は、スコアラー1名、投球数管理責任者と投球数管理者の2名を配置する。

②投球数管理責任者は別紙「投球数集計表」により記録する。

③もう一人の管理者は、カウンター、得点版(代用)等の器具を用いて投球数を計測する。

④イニング終了時に投球数管理責任者、管理者とスコアラーにより投球数を一致させる。

⑤投球数が一致しない場合は、3人のうち多い方を投球数と決定、3者が一致しない場合は投球数管理責任者の投球数を記録する。

⑥確定した投球数を次のイニング開始前にアナウンサーが球場にアナウンスする。

⑦投球数はイニング毎の投球数及びその投手の総数の投球数をアナウンスする。

(例「この回の得点は〇点、投球数は〇球です。なお、△□投手の総投球数は〇球です。」)

⑧各チームはアナウンスされた投球数と違うと判断した場合は、監督がタイムをかけて球場責任者及び投球数管理責任者と協議して投球数を決定する。

3. 運用・管理方法について

①当日の試合終了後、勝ち上がりチームは、「投手投球数記録表」(副3枚複写)を作成し球場責任者に提出すること。なお、当面は「投手投球回数記録表」(副)を代用して差し支えない。

②球場責任者は提出された「投球数記録表」(副)を上記2の投球数管理のもとに間違いがないかを確認し、「投手投球数記録表」(正)を作成、署名交付する。

③球場責任者又は勝ち上がりチームが責任を持って翌日以降の大会の球場責任者に対して、「投手投球数記録表」(正)及び(副3枚複写)を引き継ぐこと。

④翌日以降の球場責任者も①～③の手順に沿って投球数管理を行い最終的に大会本部に引き継ぐ。

第7回 スポニチ杯 第55回 日本少年野球連盟選手権大会 静岡県支部予選

大会顧問	(公財) 日本少年野球連盟会長	惣田敏和
	(公財) 日本少年野球連盟副会長	工藤真一
	(公財) 日本少年野球連盟中日本ブロック長	松本行弘
	(公財) 日本少年野球連盟特別顧問	堀内 健
大会相談役	(公財) 日本少年野球連盟静岡県支部担当	杉浦真一
大会名誉会	株式会社スポーツニッポン新聞静岡支局長	仁木弘一
大会会長	(公財) 日本少年野球連盟静岡県支部長	矢田正行
大会副会長	(公財) 日本少年野球連盟静岡県副支部長	瀧澤広行
	(公財) 日本少年野球連盟静岡県副支部長	鈴木貴司
大会運営委員長	(公財) 日本少年野球連盟静岡県副支部長	山本浩士
大会運営副委員長	静岡県支部企画運営部部長	池田竜司
大会運営委員	静岡県支部企画運営部行事委員長	山田 登
	静岡県支部企画運営部副行事委員長	芦澤厚史
	静岡県支部企画運営部副行事委員長	粂山 浩
	静岡県支部企画運営部副行事委員長	倉島裕貴
大会広報委員長	静岡県支部企画運営部広報委員長	瀧澤佳孝
大会広報副委員長	静岡県支部企画運営部IT委員長	中村好寛
大会会計部長	静岡県支部会計部長	宮本浩和
	静岡県支部会計副部長	倉島裕貴
大会事務局	静岡県支部事務局長	瀧澤広行
	静岡県支部事務局	富樫憲之
	静岡県支部事務局	芹沢輝充
	静岡県支部選抜事業担当	進士佳典
大会審判部	静岡県支部企画運営部審判委員長	熊切大介
	静岡県支部企画運営部副審判委員長	森重 明
	静岡県支部審判長	高林俊光
	静岡県支部審判部一同	
大会運営	下田ボーイズ代表	宮本浩和
	御殿場ボーイズ代表	芹沢輝充
	駿東ボーイズ代表	鈴木貴司
	スルガボーイズ代表	粂山 浩
	富士ボーイズ代表	瀧澤佳孝
	静岡葵ボーイズ代表	芦澤厚史
	静岡府中ボーイズ代表	熊切大介
	島田ボーイズ代表	山田 登
	菊川ボーイズ代表	池田竜司
	大井川ボーイズ代表	森重 明
	磐田ボーイズ代表	中村好寛
	浜松ボーイズ代表	山本浩士
	浜松修学舎ボーイズ代表	倉島裕貴
	浜松北ボーイズ代表	富樫憲之

第7回 スポニチ杯
第55回 日本少年野球連盟選手権大会静岡県支部予選

優勝

決勝 6/23

愛鷹球場 9:00

3日目

2日目

1日目

準決1

6/22

愛鷹球場

①10:00

準決2

6/22

愛鷹球場

②12:30

6/16 B1

磐田球場

①10:00

6/16 B2

浜松球場

①10:00

6/16 B3

磐田球場

②12:30

6/16 B4

浜松球場

②12:30

A1

6/15

浜松球場

②14:00

A2

6/15

裾野球場

①9:00

A3

6/15

裾野球場

②11:30

A4

6/15

裾野球場

③14:00

A5

6/15

浜松球場

①9:00

A6

6/15

浜松球場

③14:00

駿東
ボーイズ

修学舎
ボーイズ

静岡府中
ボーイズ

静岡葵
ボーイズ

スルガ
ボーイズ

下田
ボーイズ

菊川
ボーイズ

富士
ボーイズ

磐田
ボーイズ

大井川
ボーイズ

島田
ボーイズ

浜松北
ボーイズ

御殿場
ボーイズ

浜松
ボーイズ

公益財団法人日本少年野球連盟主催大会規定

平成 27 年 2 月 22 日改正

平成 28 年 12 月 11 日改正

平成 29 年 4 月 28 日改正

令和 3 年 10 月 2 日改正

令和 3 年 12 月 12 日改正

1. チームの登録選手 中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）、小学生の部は9名以上20名以内とする。
2. 出場選手はその大会の登録締め切り日現在連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は当年度発行のものとする。
4. オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることが出来る。但し、各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）および審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
7. 試合開始時刻60分前までに試合球場に到着し、直ちにオーダー表5部、投球回数記録副表3部および大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
10. 試合方式など
 - ・中学生の部
 - （1）各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01（4）により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - （2）4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回表終了時）10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - （3）7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
 - ・小学生の部
 - （1）各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間にな

れば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。

- (2) 4 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 6 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 7 回 (決勝戦は 9 回) あるいは試合開始から 1 時間 40 分 (決勝戦は 2 時間) を超えては (どちらか早い方) 新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
11. ・中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。
- (1) 1 日最大 80 球とし、連続する 2 日間で 120 球以内とする。
連続する 2 日間で 80 球を超えた場合は、3 日目は投球を禁止する。
また 3 連投 (連続する 3 日間) する場合は 1 日の投球数を 40 球以内とし 4 連投 (連続する 4 日間) は禁止する。
 - (2) 大会中は 1 日 80 球以内とし、翌日投球を休めば 3 日目は 80 球の投球を可とする。
 - (3) (1)～(2) を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
 - (4) 連続する 2 日間で 80 球を超えた投手、並びに 3 連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
 - (5) ボークは投球数としない。
 - (6) 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
 - (7) 2 年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。
・小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。
 - (1) 1 日最大 70 球とし、連続する 2 日間で 105 球とする。
3 連投 (連続する 3 日間) は禁止する。
 - (2) 大会中は 1 日 70 球以内とし、翌日投球を休めば 3 日目 70 球の投球を可とする。
 - (3) (1)～(2) を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
 - (4) ボークは投球数にしない。
 - (5) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ・共通事項
- (1) ダブルヘッダーの場合で、2 試合に登板した時は連続 2 日間投球した事とする。
また、1 試合のみ登板した場合は、1 日の投球とする。
 - (2) 小学生に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。
12. (1) 監督またはコーチの指示、伝達は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。
延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで 1 回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない)
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30 秒以内」とする。
13. 1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニング入れば、再び投手として登板することができる。

14. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
15. 監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
16. 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
19. 小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付ヘルメットを着用すること。
20. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具【マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ（一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く）】2組を備えること。
21. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
22. 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 23.グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
24. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
25. 光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
26. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.01 (4)

7.02 (a) によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、

- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる
 - (ニ) この場合の代打および代走は認められる。
- (2) チームおよび個人記録
- チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。
- (イ) 投手記録
 - ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
 - ・完全試合は認めない。
 - ・無安打、無得点試合は認める。
 - (ロ) 打撃成績
 - ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
 - ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

駿東ボーイズ

代表	鈴木 貴司
監督	松尾 良太
コーチ	大嶽 弘樹
マネージャー	石田 尚美
32	主将 石田 禪 3年
0	佐藤 凜空 3年
1	大木 暖斗 3年
2	井原 大翔 3年
3	品川 幹太 3年
4	岩崎 晴空 2年
5	鈴木 佑 2年
7	大嶽 壮生 3年
8	原田 楓太 3年
9	山本 妃奈 2年
10	杉山 冬馬 3年
11	長澤 幸芽 3年
13	福沢 悠 2年
14	山口 剛虎 2年
15	原 千春 3年
22	鈴木 陽菜 2年
27	高山 佳士 3年
29	齋藤 直将 3年
31	小津 孝太郎 3年
34	石井 裕基 3年
38	長島 優希 3年
51	伊山 莉叶 2年
55	岩崎 虹空 3年
63	井上 絢太 3年
66	豊島 捷生 3年

浜松北ボーイズ

代表	富樫 憲之
監督	山道 伸之
コーチ	鈴木 理男
マネージャー	木村 伸一
38	主将 高橋 瑛人 3年
1	二橋 泰輔 3年
3	漆畑 威吹 3年
4	坂田 景 3年
7	間部 翔太 3年
10	一木 柊哉 3年
14	小笠原 太一 3年
17	松井 勸太 3年
20	名倉 陸 3年
22	井口 琥太郎 3年
24	前田 信太郎 3年
27	渡邊 健介 2年
32	藤原 海夢 3年
33	安川 凜音 2年
35	鈴木 康和 3年
36	佐藤 悠生 3年
37	加藤 佑來 2年
39	林 翔太郎 3年
41	濱本 亘 3年
46	木村 謙伸 3年
49	齋藤 倅次郎 1年
74	室内 蓮叶 2年
75	堀内 陽登 2年
77	齋藤 颯太郎 3年
89	絵鳩 大河 2年

磐田ボーイズ

代表	中村 好寛
監督	吉村 正之
コーチ	中山 泰成
マネージャー	齋藤 隆太
36	主将 磯部 祐三 3年
0	鈴木 琥太郎 3年
1	仲儀 遥翔 3年
2	長谷川 侑世 2年
4	井本 武 3年
5	長江 慶士 3年
7	榎谷 太寿 3年
12	松本 侑大 3年
20	鈴木 陽友 3年
21	久保 智 2年
27	岡本 行惺 3年
34	木下 翔瑛 3年
35	安藤 義耀 3年
37	杉山 栄 3年
42	大原 聡太 3年
44	青島 涼太 3年
56	小倉 陽虎 2年
61	稗田 孝太郎 3年
63	大石 悠月 3年
77	内山 樟太郎 3年
96	黒木 陸翔 3年
99	内山 月斗 3年

浜松修学舎ボーイズ

代表	倉島 裕貴
監督	宮澤 明聡
コーチ	辻岡 裕汰
マネージャー	佐藤 二郎
24	主将 松下 直矢 3年
1	水野 希望 3年
2	田口 湊楽 1年
3	松下 栄琉 1年
4	山下 唯斗 2年
5	藤田 奏 1年
6	渡辺 一伍 1年
7	伊原 幸汰 2年
8	金原 柚 1年
10	手塚 勇虎 1年
11	野末 樹 2年
12	白鷺 拓弥 1年
17	近藤 晴輝 2年
18	和田 脩吾 2年
22	鈴木 嬉音 2年
23	加藤 伶八 2年

スルガボーイズ

代表	靱山 浩志
監督	荒川 克人
コーチ	椎田 清隆
マネージャー	朝香 祐一
11	主将 杉山 永晃 3年
1	栗田 全 2年
2	須川 駿生 3年
3	池谷 希夢 2年
4	渡邊 大地 2年
5	竹内 來斗 2年
6	八巻 行正 2年
7	芦川 愛斗 3年
8	横山 幸生 2年
9	朝香 和士 3年
14	池田 晴希 3年
16	浅川 翔矢 2年
17	古見 颯人 2年
18	永沼 良太 2年
19	関 緑里 1年
22	吉野 瑛翔 2年
23	尾形 玲旺 3年
25	平野 笑琉 3年
26	日向 雄星 3年
33	井上 誠大 3年
36	菅野 由翔 3年
41	石橋 侑馬 3年
42	椎田 悠太 3年
44	加藤 琉貴 3年
55	笠井 陽向 3年

富士ボーイズ

静岡葵ボーイズ

浜松ボーイズ

下田ボーイズ

静岡府中ボーイズ

代表	瀧澤 佳孝	代表	芦澤 厚史	代表	山本 浩士	代表	宮本浩和	代表	熊切 大介
監督	瀧澤 将美	監督	高柳 清彦	監督	60 中村 永司	監督	渡邊夏樹	監督	望月 淳
コーチ	栗田 靖之	コーチ	池谷 謙太	コーチ	50 鈴木 広達	コーチ	渡邊祐樹	コーチ	松永 康裕
マネージャー	横田 大陸	マネージャー	佐野 文哉	マネージャー	畑中 紳吾	マネージャー		マネージャー	大畑 真也
99	主将 横田 悠真 3年	3	主将 花村 健永 3年	6	主将 堀内 遥斗 3年	5	主将 笹本 真咲 3年	4	主将 望月 大和 3年
1	中村 咲愛 3年	1	向後 利来也 3年	0	榊原 翔太 3年	1	渡邊 球児 3年	1	長谷川 聖輝 3年
2	吉田 隼梧 1年	2	濱田 慈仁 1年	1	三沢 和樹 3年	2	後藤 嵐 2年	2	池島 江之助 3年
3	湖山 知承 1年	4	遠津 悠斗 1年	2	鈴木 煌 3年	3	村木 陽太 3年	3	菊池 康生 3年
4	栗田 和城 2年	5	曲田 和樹 1年	3	小幡 隼也 3年	4	鈴木 夢人 2年	5	森 奏喜 3年
6	内石 隼士 1年	6	石垣 温暉 2年	4	伊藤 優臣 2年	6	鈴木 拓斗 3年	6	松本 大輝 3年
9	芦澤 隆太 2年	7	中川 太陽 2年	5	河合 逞 2年	7	後藤 虎太郎 2年	7	成岡 紀漣 3年
11	海野 龍央 3年	8	和田 龍聖 3年	7	齋藤 康陽 3年	8	矢野 平 3年	8	櫻木 琉雅 3年
17	栗田 青葉 3年	9	杉山 蓮祇 2年	8	尾崎 瑠偉 2年	9	石井 世夏 2年	9	伊東 隼 3年
18	大川 昇真 3年	10	佐藤 新 2年	9	長倉 壮太 2年	10	菊池 春来 2年	10	杉山 拓哉 3年
19	藤原 優志 3年	11	川口結衣 1年	10	岩崎 佑駕 3年	11	久住 晴道 2年	11	飯塚 玲翔 3年
21	仁藤 理徠 1年	13	平川 侑汰 3年	11	澁谷 旺祐 2年	12	阿部 蒼大 2年	12	多田 龍代 3年
22	山本 虎太郎 3年	14	佐野 愛太 1年	12	鎌田 翔介 2年	13	佐藤 煌華 2年	13	鳥羽 颯天 3年
23	口藤 蒼良 1年	15	佐藤 大真 1年	13	森下 悠心 3年	14	伊藤 春 2年	14	柴田 大輝 3年
24	内海 穰 3年	16	杉本 麗悟 1年	14	加藤 悠汰 3年	15	堤 蓮王 2年	15	西田 景虎 3年
25	矢野 雄晴 1年	17	山崎 央人 3年	15	坂本 泉 3年	16	八代 煌月 2年	16	森川 新大 3年
27	窪寺 耕二郎 3年	19	青木 善 1年	16	平出 祐也 3年	17	石坂 旭 1年	17	法月 暖真 2年
29	渡邊 優 2年	21	原田 星亜 2年	17	中塩 敬音 3年	18	太田 麦 1年	18	山際 敦仁 2年
31	杉山 遼 3年	22	宮地 優和 2年	18	伊藤 愛琉 2年	19	臼井 煌一郎 1年	19	青木 佑陽 2年
33	岩見 隼之進 1年	24	長利 怜皇 1年	19	近藤 悠斗 3年	20	内山 遥仁 1年		
34	谷口 翔斗 3年	25	佐野 光星 1年	20	鈴木 哉多 2年	21	千島 陽菜斗 1年		
51	勝又 諒 1年	27	奥村 直生 3年	21	袴田 鳳雅 2年	22	矢野 道 1年		
55	深澤 青空 3年	42	西ヶ谷 莉園 1年	22	白木 恭平 2年				
77	村上 淳彦 3年	55	倉永 夏希 2年	23	杉田 昊輝 2年				
		83	有賀 夢生 2年	24	佐伯 虎志朗 2年				

御殿場ボーイズ

島田ボーイズ

大井川ボーイズ

菊川ボーイズ

代表	芹沢 輝充
監督	山崎 元則
コーチ	松田 碧海
マネージャー	松田 幸夫
7	主将 土屋 梗雅 3年
1	小長井 悠希 3年
2	東 輝登 2年
3	岩田 洋輝 3年
4	宮下 航青 3年
5	貞廣 航汰 2年
6	長戸 陸翔 3年
8	田代 權斗 3年
9	岡 龍馬 3年
10	勝俣 拓真 2年
11	山下 晋太郎 2年
12	植田 友惺 2年
13	湯山 聡士 2年
14	坂口 太絆 2年
15	杉山 琉晟 2年
16	小野 賢人 1年
17	宮崎 遥也 1年
18	
19	
20	
21	
22	
23	

代表	山田 登
監督	鈴木 亨
コーチ	飛弾野 清治
マネージャー	奥津 和長
30	主将 片出 憲志 3年
1	加藤 琥大朗 3年
9	増田 太城 3年
10	鈴木 瑛介 2年
11	中川 瑛太 3年
18	鈴木 迅 3年
19	上田 淳吾 2年
22	長島 碧志 3年
23	植松 永途 3年
25	平野 光星 3年
26	辻村 聡太 2年
27	萩原 聡太 2年
36	大川 銀士 2年
39	中原 琥優 2年
41	見崎 賢汰 3年
42	田原 滉大 3年
44	加藤 旭陽 2年
51	野口 修吾 3年
52	二木 愛侑斗 2年
55	山野 碧真 3年
56	辻村 悠汰 2年
62	藤本 翔太郎 2年
66	宮城 富士 2年
77	袴田 幸次郎 2年
82	加藤 夢都 2年

代表	森重 明
監督	袴田 晋矢
コーチ	江塚 諭
マネージャー	伊藤 謙佑
14	主将 大井 勇翔 3年
1	大倉 一紗 2年
2	青野 晁大 2年
3	青野 鉄平 2年
4	菊地 流星 2年
7	滝浪 茉奈 2年
10	鍋田 漣 2年
17	北川 翼 3年
21	望月 康太郎 2年
24	加藤 禅己 3年
27	内田 周汰 2年
28	小宮 昇真 3年
29	杉田 倭 3年
32	杉山 満己 3年
33	栗城 壘行 3年
35	鈴木 梁太 2年
37	鈴木 隆太 3年
41	竹下 想生 2年
44	市川 航成 3年
46	石切山 湊心 3年
47	松本 昇磨 3年
51	岡村 彰真 3年
56	山本 創輔 3年
77	永嶋 玲音 3年
80	鈴木 遥斗 3年

代表	池田 竜司
監督	鈴木 修平
コーチ	大石 丈二
マネージャー	萩原 裕香
12	主将 堀内 慶也 3年
10	萩原 来玖 3年
16	鈴木 彰瑛 3年
17	大石 星翔 3年
23	赤堀 貴生 3年
28	匂坂 隼士 3年
29	鈴木 翔真 3年
31	山名 香嘉 3年
33	黒田 琉星 3年
37	吉田 善 3年
44	鈴木 隼生 3年
51	笹瀬 琢斗 3年
53	曾根 勇斗 2年
55	西尾 颯月 3年
57	當摩 楽太郎 3年
61	紅林 耀斗 2年
63	松本 惟冴 3年
75	赤堀 陽斗 3年
81	横山 颯人 3年
80	望月 理人 3年
86	藤本 桜雅 3年
88	井村 健志 3年
91	松本 紘人 3年
99	池田 樹 3年

